
天上の君へ送る手紙

絶影

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天上の君へ送る手紙

【Zコード】

N7152E

【作者名】

絶影

【あらすじ】

ずっと前に逝ってしまった僕にとって大切な君・・・今、君へ送る手紙を書いてみたんだ

久しぶりだね。

君がこの世界を旅立つたのは何時だつたつけ? 確か高一位だつたと記憶してゐる。

君が旅立つてしまつ前に言つてくれた言葉は今も覚えているよ。

『また会おうね』 つて言つてくれた事。あの一言があるから僕は頑張れた。

それに『頑張つて生きてね』とも言つてくれた。あの一言が泣ければ僕はすぐに命を絶つていたのかも知れない。

君が居なくなつてしまつた後には本当に何も残らなかつたよ。火葬の時も、埋葬の時も四十五日の時も、一周忌も・・・

誰も君に会いにこようとしたしなかつた。だからお寺さんが困つていたよ。一人なのに葬式はするのか?とね。

でも僕はします。と答えたんだ。じゃないと君がかわいそうじゃないか。

これは勝手に僕が思つたことだから君の意思は尊重されてはいないけど、僕が満足するようにしたかつたんだ・・・『メンね。

だから僕は頑張つた。君が居なくなつてからは誰も僕の事を見てく
れなかつたけど頑張つたんだ。

君とまた会つたときに恥ずかしくないようになりますために

おかげで、引退前には世界的に有名な博士にまでなることが出来た。

全部君との約束のおかげさ、ありがとう。

あの時はすぐに返事が出来なくて困らせてしまって申し訳ない。

でも、今だったら言える。《君との約束は果たしたよ》とね。

僕はもう少ししたら君のもとへ行くよ

先週から入院しているんだけれども、昨日、僕の担当の先生が言ってくれたんだ。

もう寿命だつて事をね。

だから僕は胸をはつて君に会いに行こうと思つ。

およそ60年・・・こんなにも待たせてしまつて悪かったね。

僕は君が居なくなつてから一度も恋人を作らなかつたけど君はどうだろうか？

僕と同じかな？それとも天上の世界で素敵なお人でも見つけたのだろうか・・・

“出来れば僕と同じであつてほしい”・・・それが今の僕にとってのやさかな願いさ

(後書き)

こんちあ、絶影です。

ふと思い立つて書いてみた詩（？）です

書いた後にちょっと気になつた事があります。

付き合つていた相手が急に病は事故で逝つてしまつた後に、この小説の《僕》みたいな生き方が果たして出来るのかともし、出来るのならその逝つてしまつた相手も少しばかりが樂になるんじゃあ無いかなと

そんな感じで書いてみたものです、雑文ですが読んでください有難う御座います

ちょっとアドバイス受けたのでちょこちょいと訂正しますが・・・
変だつたら言つて下さい。○。○。○

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7152e/>

天上の君へ送る手紙

2010年10月11日02時39分発行